

令和2年度の重点課題

○新体力テストの総合評価のAB率44%、DE率23%である。（AB-DE率21%）

○全学年の男女とも、「握力」及び「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い。

○男子は、「握力」、「50m走」、「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○女子は、「握力」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ソフトボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○運動習慣に関するアンケートによると、運動やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と答えた児童の割合は、男子77.5%、女子70.6%だった。全国平均（R1年度データ）が、男子93.0%、女子88.7%と比較すると10%以上低く、運動好きな児童の割合を増やしていく必要がある。

（令和元年度からの継続課題）

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

＜令和3年度に取り組んだ内容＞

○「握力」に関する取組みについて  
 ・日常の宿題としてグーパー運動など、筋力向上の項目を取り入れて実施した。  
 ・器械運動の授業を中心に、鉄棒にぶら下がるタイムを競うなど、「握る」取組みを行うことで筋力向上を図った。

○「50m走」に関する取組みについて  
 ・今年度の学校経営目標である社会情動的スキル、特に目標を達成する力の育成に結び付けた種目として「学級リレー」を取り入れ、走力向上とともに、学級力向上を図る取組みを行った。

○体力向上及び運動が楽しいと思える児童の向上に向けた取組みについて  
 ・全校朝会でのストレッチタイム  
 ・足が速くなるダンスの普及活動及び動きの手本を示すための練習会  
 ・長縄チャレンジ大会

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.17	20.37	36.68	41.37	44.86	9.47	145.02	21.65	53.03	第5学年	17.41	19.38	39.62	39.52	39.89	9.51	143.87	13.06	55.87

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.17	20.37	36.68	41.37	44.86	9.47	145.02	21.65	53.03	第5学年	17.41	19.38	39.62	39.52	39.89	9.51	143.87	13.06	55.87

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	62.7	20.9	4.5	9.0	第5学年	53.3	29.3	6.7	8.0

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
1年	64.2	27.2	8.6	0.0	1年	74.5	17.6	5.9	2.0
2年	88.0	4.0	4.0	4.0	2年	72.0	18.0	6.0	4.0
3年	84.3	11.8	2.0	2.0	3年	74.5	25.5	0.0	0.0
4年	74.5	21.6	2.0	2.0	4年	60.0	30.0	4.0	6.0
5年	62.7	20.9	4.5	9.0	5年	53.3	29.3	6.7	8.0
6年	72.0	26.0	2.0	0.0	6年	50.0	30.4	13.0	6.5
平均	74.3	18.6	3.9	2.8	平均	64.1	25.1	5.9	4.4

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○年間を通して、準備運動（10分程度）の中に、足が速くなるダンス（府小っ子ダンス）を取り入れ、体全体のストレッチを行う。また、全校朝会で「椅子に座ってできるストレッチ」を行う。  
 ○主運動に繋がる運動を意識し、教具を使用する場合は一人一つを目安に基本操作を中心にドリル運動を行う。特にボール運動、ベースボール型では、ヘアでのキャッチボールを基本としてボールの投げ方に慣れる。（投げる経験を重ねることでリリースポイントを理解する）、ゴール型では、ドリブルリレーやシュート練習、ネット型では、サーブ練習やレシーブの基本となるボールの下に入る練習として、ビニール袋でボールをキャッチする活動等、児童が友達との関わりの中で「楽しい」と感じるドリル運動を仕組んでいくことで、技能面のみならず情意面での課題も解決できると考える。  
 ○走の運動の主運動につながるドリル運動として、しっぽ取りや鬼ごっこを定期的に行うことで、敏捷性が向上すると考える。

体育の授業以外で行う取組内容

○体育委員会を中心に、以下の体力向上イベントを企画し、実践することで児童の体力面と情意面を育成する。  
 ・1学期・・・府小っ子ダンスや全校朝会を中心にストレッチタイムの実施（全身の体ほぐし運動）  
 ・2学期・・・長縄大会（体ほぐし運動と仲間と関わり合い目標に向かって粘り強く取り組む態度の育成）  
 ・3学期・・・持久走大会（予定）に向けての駆け足運動（走の運動で全身の筋持久力向上、目標に向かって粘り強く取り組む態度の育成）及び投力向上に向けたイベント

重点課題

＜情意面での課題＞  
 ○男子  
 ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が6.7%である。前回の割合が3.2%だったことから、3.5%（約2倍）増加している。  
 ○女子  
 ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が10.3%である。前回の割合が6.9%だったことから、3.4%増加している。  
 ・ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも3.6%多い。  
 ＜体力面での課題＞  
 ○男子  
 ・「上体起こし」、「長座体前屈」以外において、県平均かつ全国平均値より低い。  
 ○女子  
 ・「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」において、県平均かつ全国平均値より低い。  
 今年度重点課題として挙げている「握力」「50m走」は女子が県平均値を上回った。

令和4年度の重点目標値

○AB-DE 率を20%未満にする。  
 ○運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子は3.2%、女子は6.9%（令和元年度結果）以下にする。  
 ○「反復横とび」及び「ボール投げ」の測定値を県平均値以上にする。